

東っ子

たのしみが
ゆきわたる
東小学校

6月号

何が大切か

校舎の北側はほとんどがアスファルトですが、最も北側は幅二メートルほど土の部分があります。そこには、桜の古木とアジサイが植えられています。梅雨のこの時期、学校のアジサイも花を咲かせています。思えば二月にあの大雪に見舞われ、その上、雪かきした雪をかぶせられ、二メートルほど雪を背負わされたにも関わらず、まるで何事もなかったかのよう。例年のように花を咲かせている。その生命力、力強さに驚かされます。「雨にも負けず、風にも負けず」ではありませんが、大雪にも負けずといったところでしょうか。今、忍耐とか、辛抱とか、我慢とか、といった言葉が軽んじられ、自分勝手や、自分の欲望のままがまかり通る、といった風潮があるような気がしてしよるがありません。私たち大人が子どもに何が大切かをどう伝えるのか、そのことが問われています。

宿泊体験の価値

六年生・修学旅行
(五月二十八〜三十日)



五年生・林間学校
(六月五〜六日)



修学旅行、林間学校、いずれも宿泊を伴った学校行事です。親元を離れて宿泊すると、誰にも不安や心配があるものではない。それを乗り越えることは、宿泊体験の大きな意義です。「かわい子には旅をさせよ」。自立した大人となるために。

連合音楽会

六月十一日(水)に、甲府市小学校連合音楽会が開催されました。出場するのは四年生。甲府市内を六つの地区に分けて、それぞれ会場に集まって行われます。



東小学校は東ブロックの会場校になって、本校と里垣小・玉諸小・善誘館小・甲運小の計五校が発表し合います。各学校ともに、合唱と合奏を二曲発表しました。東小は合唱曲「スタートライン」と合奏曲「RPGSEKAI」を発表しました。発表する人、聴く人の気持ちが残る音楽会でした。子どもたちは、学校だけでなく家でも一生懸命に練習を重ねてきました。その中で努力することの大切さを学び、友達と一つの曲を作ります。喜びを感じてきたこと、思いま

保護者や地域の皆様とともに

五月末から六月にかけて、保護者の皆様や地域の方々を迎えての行事をいくつか開催しました。

【給食試食会・講演会】

五月二十八日に開催。試食会は一年生の保護者が対象。教室で一緒に食べた給食はいかがでしたか。講演会は栄養士の清水友美先生により、給食についてお話をいただきました。主催のPTA保健給食部の皆様、ご出席の皆様、ありがとうございました。

【児童引き渡し訓練】

六月二日(月)の午後、地震注意情報が発表されたという想定のもと、引き渡し訓練を行いました。参加された皆様の服装・靴などを観て、真剣さが伝わってきました。

とかく「のど元過ぎれば熱さ忘れる」となりがちです。「転ばぬ先の杖」、日頃からいざという時の備えをしておきましょう。

【PTA球技大会】

六月十四日(土)午前中、PTA体育部主催で球技大会が行われました。種目はグラウンドゴルフ。各クラス

と本会の計十五チームで優勝目指して競技しました。優勝は一年二組。準優勝は二年二組。三位が四年二組で、ブービー賞が三年二組でした。保護者と教師との距離が縮まった、和気あいあいの大会となりました。

【とうふの会のイベント】

球技大会同日の午後には、とうふの会による「グラウンドゴルフ」のイベントがありました。参加者は二十名ほどでしたが、子どもも競技ができたので、親御さんがお子さんに教えてあげるなど親子で会話しながら楽しんでいく姿があつて、とてもいい雰囲気でした。

【学校開放日】

六月十六日(月)に実施しました。授業や休み時間、給食、清掃など、子どもたちの学校生活の様子を観ていただきました。保護者をはじめ、お祖父さん・お祖母さん、地域の方などたくさんの方々が訪問していただきました。子どもたちは、家の人が来てくれているかな、と探します。そして見つけるとすごく嬉しいのです。どうぞ、これからも学校へ来て子どもたちを応援してください。